

29 The Ebenezer

元々はアイルランドの古い曲です。アイルランドの定期船の船乗り達が、船からポンプで水を汲み出すときに歌っていたようです。又、あるヴァージョンは西インド諸島の貿易に携わる船の上で、Forecastle Shanty（仕事以外の時に歌われた歌）として歌われたと言われています。なお、“The Ebenezer”はここでは帆船の名前です。

(日本語訳)

1. 俺はエバニーザ号に乗り込んだ。

仕事は、毎日この船をごしごし洗ったり、油を差したりすることだった。

俺達をマストの上に登らせ、船を磨くことだった。

そして不平を言おうものなら、奴らは俺達を打ちのめしただろう。

(コーラス)

オオー、仲良くやろうじゃないか、お若いの、上手くやろう。

手際よくな、お若いの、手際よくだ！

仲良くやろうじゃないか、お若いの、上手くやろう。

手際よくな、お若いの、手際よくだ！

2. この老人は酔っ払いの老いぼれだった。

エバニーザ号を帆走できなかった。

中国のジャンクでは、自分の商売をおぼえた。

そして大半を自分の寝床で過ごした。

(コーラス)

3. 一等航海士の名前はディッキー・グリーン殿だった。

今まであったこともないほど汚い奴だった。

高級な巻き煙草をくわえて船尾を歩いているときに、

鮫が奴の身体を食べ、悪魔が奴の命を飲み込んでくれますように。

(コーラス)

4. 水夫長殿はテネシーの出身だった。

奴はいつもブラックボールの一級品を身に付けていた。

奴は港という港に女がいた。

少なくとも、奴のかみさんはそう思っていた。

(コーラス)

語句の意味：git along=get along（仕事が進む、はかどる）、handy（手際よい）、'er=her（The Ebenezerの事）、Wuz=was、geezer（おいぼれ、じじい）、mos' time=most time、bunk（寝台、寝床）、poop（船尾楼）bucko（威張り散らす奴、高級船員）、roll（巻き煙草）、cheeser（一級品、上等なもの）、Blackball（19世紀後半から20世紀初めにかけてアメリカ・イギリス間を就航していた快速帆船で、その船員を指すと思われる）、missus=missis（妻、家内）

(解説・日本語訳) 宮崎多加雄